

学校だより

校舎改築工事 着々進む!!

平成22年秋から第二期工事の特別教室棟の改築工事が順調に進み、いま外壁の塗装中で建物全体がビニールに覆われています。これらの予定としては9月30日にはこの第二期工事も終了し、新しい校舎がお目見えします。10月中に仮設校舎より新校舎へ引越しを終わり、新しい校舎で授業が始まります。

熊商にもせひおいでください。熊商の皆様、どうぞ新しい熊商を、歓迎します。新入生を迎えて、熊商新校舎の歴史が始まります。



▲明るく広い保健室です。心と体をリフレッシュします。



▲中会議室です。いろいろな会議などに使われます。



▲校長室の執務用の机・椅子(同窓会の寄付金の中から購入)



▲図書館です。入るとすぐに書架が並びます。最新的書籍も購入されています。



▲中会議室です。後方には書道部の力作が掛けられています。



▲壁には歴代の校長先生の写真が掛けられています。4本の優勝旗は文化系部活の県大会優勝のものです。

▲放課後は生徒たちであります。

陸上部

二連覇達成!!

お元気ですか

高校18回卒 林 喜久男

母校に赴任して

高校43回卒 中山 葉月

今年5月から進路指導部で生徒の皆さんに就職支援の仕事をしていま

たが、400mは2名インターンの就職支援の仕事をしていま

る道に進まれ活躍をされておら

ます。卒業は昭和41年の18回生であります。多くの企業の皆さんか

らのこれまでの国内、国外で、熊商は好評です。そのよう

うのことで、大学卒業後は、県内各地の高

校で総合体育大会で熊商陸上部は、総優勝し、インターハイ出場と大取

合優勝を成し遂げ2連覇を達成しました。

それに続

けては、「万全な状態で臨みた

りと思います。2年連続で準決勝までいっているので、今年は

ファイナルまでいって上位入賞

ができたらしいなと思つていま

す」頑張れ陸上部!!

月3日より月16日まで、南九州大会で

いたが、400mは2名インターハイに出場し、4×400mリレーではエース抜きでしたが

4×400mRで優勝し8月3日

は、鹿児島県で行われるインターハイへの切符を手に入れました。監督の塩塚先生にお話を伺いました。県高校総体では、3年生の頑張りで2連覇が

南九州大会で行われた

結果でした。」インターハイに向

ったが、新たな気持

で、鹿児島県で行わ

りました。そこで、

改築で雰囲気もすこり変わつ

文化系部活も頑張っています

本年度、柳山実生が全国高等学校総合文化祭福島大会の熊本県代表に選ばされました。これは平成十七年度河野崇子、平成二十年度高田有佑子に続く快挙です。

例年作品の出品と本人が参加しての交流会等の行事があるのですが、今年は東日本大震災の避難場所として会場が使用されても残念ですが、くじけること

議室に展示される予定です。

また、熊本県新春学生書道展に入賞しました。他にも各種書道の名前をアピールできるよう頑張っています。

では、志摩千晶が見事大賞に、毎年特選入賞を果たしている熊日は、入賞しています。本人の参加ができずとも新鋭書道展には、得点されることが多いです。

年次部活動を

進行を勤め、毎日の部活動(練習)にも励んでいます。作品は一年間県庁の教育委員会

会議室に展示される予定です。

また、熊本県新春学生書道展

での表彰式で、

入賞しました。

他の部活動を

進めています。

桜と錨

桜と錨

高校23回卒 柳川 信幸

熊商を想う

高校47回卒 高濱さおり

校章には、

桜と錨

が、

のできない日本人になんて当たり前ですが、外国人からは当たり前ではないらしい。

熊商で培った力、家庭や

社会で足を踏み入れるのは、大学

で、外で活躍するだけではなく、海外で発揮するだけではなく、海

域で活躍するだけではなく、海外で活かしてほしい気持ちが込められていました。美術と複眼的な視野を兼ね備えた人材は、どこ

で、外で活躍するだけではなく、海外で活かしてほしい気持ちが込められていました。美術と複眼的な視野を兼ね備えた人材は、どこ

桜と錨

高校23回卒 柳川 信幸

熊商を想う

高校47回卒 高濱さおり

校章には、

桜と錨

が、

のできない日本人になんて当たり前ですが、外国人からは当たり前ではないらしい。

現在、念願の母校に赴任し、学業や部活動、そして自ら

の進路に正面から立ち向かう

手にし、生徒たちと談笑する場

面では、緊張のせいかやや笑顔

がひきつり気味となつた。撮影

桜と錨

高校23回卒 柳川 信幸

熊商を想う

高校47回卒 高濱さおり

校章には、

桜と錨

が、

のできない日本人になんて当たり前ですが、外国人からは当たり前ではないらしい。

現在、念願の母校に赴任し、学業や部活動、そして自ら

の進路に正面から立ち向かう

手にし、生徒たちと談笑する場

面では、緊張のせいかやや笑顔

がひきつり気味となつた。撮影

桜と錨

高校23回卒 柳川 信幸

熊商を想う

高校47回卒 高濱さおり

校章には、

桜と錨

が、

のできない日本人になんて当たり前ですが、外国人からは当たり前ではないらしい。

現在、念願の母校に赴任し、学業や部活動、そして自ら

の進路に正面から立ち向かう

手にし、生徒たちと談笑する場

面では、緊張のせいかやや笑顔

がひきつり気味となつた。撮影

桜と錨

高校23回卒 柳川 信幸

熊商を想う

高校47回卒 高濱さおり

校章には、

桜と錨

が、

のできない日本人になんて当たり前ですが、外国人からは当たり前ではないらしい。

現在、念願の母校に赴任し、学業や部活動、そして自ら

の進路に正面から立ち向かう

手にし、生徒たちと談笑する場

面では、緊張のせいかやや笑顔

がひきつり気味となつた。撮影

桜と錨

###

三八会同窓会(平成二十三年度)

高校十五回卒 十組 鶴田 久穂

約束の日、三月八日に会いました。昨年同様会場、マルパルク、十八時集合、十八時三十分記念写真とスケジュールは詰り、会長挨拶に引き続き、恩師、城先生、日吉先生、東先生の話では学生時代には聞けなかつた先生の悩みや秘話も披露され、人間教師を垣間見て親しみが更に深くなります。

昨年同様会場、マルパルク、十八時集合、十八時三十分記念写真とスケジュールは詰り、会長挨拶に引き続き、恩師、城先生、日吉先生、東先生の話では学生時代には聞けなかつた先生の悩みや秘話も披露され、人間教師を垣間見て親しみが更に深くなります。



平成23年三八会1組～5組集合写真

乾杯の後は、酔いのまわりと共に、子供のこと、孫のこと、持病や、その他交々は、一昔前の宴席には考えられない話題で盛り上がり、瞬く間に予定の二時間は過ぎました。

その間出演が心配されたアトランティックショットもトップバッターの十組花多山、本田さん共演の三味線、詩吟の後、希望者が多く司会はお断りするほど嬉しい誤算で盛り上がり楽しめました。

ラスト近くの応援歌は大合唱十組花多山、本田さん共演の三味線、詩吟の後、希望者が多く司会はお断りするほど嬉しい誤算で盛り上がり楽しめました。

今年も例年ど変わらない九十名程の参加者の中、県外からも忙しい中十名余りの参加者になりました。その県外参加者の近況報告では、卒業以来初めて参加されて卒業後の喜びや悲しみの人生談を披露されたのに、参加者の多くは我が生き方と重ね学生時代以上に親しみを覚えます。

校長室に小代焼の大皿寄贈 内藤勝さん(本科42回卒) 様の作品です。先般「さくら会」大皿は、直径60cmほどのもので、小代焼とも窯 井上泰秋

が贈られました。それに対し、学校より感謝状が贈られました。

熊商25回(S48年度)卒同窓会 開催



平成22年8月13日金、熊商25回(S48年)卒の同窓会は、熊本全日空ホテルニュースカイにおいて開催されました。

お盆の同窓会とあって、当時の担任の先生をはじめ、90名の参加でした。会場は大いに盛り上がり、次回4年後の還暦同窓会での再会を約束しました。熊商同窓会学年幹事 下川 幸一

高校10回33会 学年同窓会を開催



乾杯の音頭のあと懇談に移りました。その合間を利用して各クラス毎の記念写真も室外での撮影でしたが無事終了致しました。

僅か2時間の短い間の懇談ではあります。但し、各子

一ブル毎に学校時代や卒業後の昔話に花が咲き、本当に和やかに楽しく過ごすことが出来ましたが、何分にも時間が足りず残念を惜しみつつ、二年生の後、九月に案内状を出呈し

00名の会員全員に対し暑中見舞いの出状による事前のお知らせ後、又元気で再会出来ることを約し、校歌を高らかに齊唱し、三唱となり、指名の六組頬口さんより来年又お会いしましよう約束ができました。

同窓会終了後は其々のクラスに分かれた二次会で異なる親しみが増しました。

高校10回33会・クラス幹事会

度同窓会へ寄贈されました。記念誌には、42年に入学した51期生274人の写真をクラスごとに掲載し、学徒動員で長崎に行つた人も多く、回想録には原爆投下直後の長崎の惨状を記述するものもあります。

本校五一期卒は、今年八〇才を迎えた。当時は戦争一色の世の中で、勉強も十分にできなかつた時代を思い起し、後輩達に戰争の愚かさを考えるきっかけに

私達高校生は皆一番の食べ盛りで、アルミの弁当箱は蓋が閉まらない程に麦飯を詰め込み登校する。そして誰もが昼休みまで腹が持たず、2～3時間後

去る平成二十二年十月二十二日(金)鶴屋百貨店東館7階「力ネーションサロン」において、出席予定者1255名が1名欠席もなく、全員参加のもと盛大に開催されました。

この日のために遠路はるばる遠くは関東地方からの参加を含

当日の進行は、物故者への黙祷から始まり、遠来の方々の紹介と代表者によるご挨拶、掲示

乾杯の音頭のあと懇談に移りました。その合間を利用して各クラス毎の記念写真も室外での撮影でしたが無事終了致しました。

楽しい時間はアツと言ふ間に過ぎ、応援歌、校歌の斉唱を行なお、前日十三日金には商縁会ゴルフ同好会(後藤政義会長三十名による第七回コンペ)アトラクションは同じくプラ

スバンド部出身の永野昭さんが主宰するオカリナ教室の皆さん

の演奏や、こども舞踊「ザ・わらべ」のかわいい踊りに万雷の拍手で盛り上がりました。

楽しい時間はアツと言ふ間に過ぎ、応援歌、校歌の斉唱を行なう。次回の再会を誓つて閉会しました。

なお、前日十三日金には商縁会ゴルフ同好会(後藤政義会長三十名による第七回コンペ)ア蘇大津カントリークラブ..

写真も記念大会として開催しました。(高十三回 宮本隆盛)

主導するオカリナ教室の皆さん

高十三回(S36年卒)卒業50周年記念同窓会開催



九州新幹線全線開業もあり、県外から二十七名を含む百八十六名の方々が九州外から駆け付けていただき、心から感謝申し上げております。

四月のクラス幹事会(10クラス30名)で開催を決定し、約400名の会員全員に対し暑中見舞いの出状による事前のお知らせ後、九月に案内状を出呈し

代や卒業後の昔話に花が咲き、本当に和やかに楽しく過ごすことが出来ましたが、何分にも時間が足りず残念を惜しみつつ、二年生の後、九月に案内状を出呈し

00名の会員全員に対し暑中見舞いの出状による事前のお知らせ後、九月に案内状を出呈し

代や卒業後の昔話に花が咲きました。来賓に恩師宮田範之先生、吉永公祐先生のご臨席があり終始賑やかに会話を交わしました。来賓に恩師宮田範之先生、吉永公祐先生のご臨席があり終始賑やかに会話を交わしました。来賓に恩師宮田範之先生、吉永公祐先生のご臨席があり終始賑やかに会話を交わしました。

高校野球夏の甲子園出場を果たした学年として誇り高く、当時の熊商生活の思い出話を数々に花が咲きました。

主導するオカリナ教室の皆さん

が教科書はなく毎日の新聞が教材であった。そこで登校すれば授業に付いて行けず、今

でもそれが良い習慣となり新規問題等の討議がなさ

れば授業に付いて行けず、今でもそれが良い習慣となり新規問題等の討議がなさ

自由な学園となり、大いに青春直され殆ど幹事一同その努力が報われた気持ちで一杯でした。

当日の進行は、物故者への黙祷から始まり、遠来の方々の紹介と代表者によるご挨拶、掲示

乾杯の音頭のあと懇談に移りました。その合間を利用して各クラス毎の記念写真も室外での撮影でしたが無事終了致しました。

楽しい時間はアツと言ふ間に過ぎ、応援歌、校歌の斉唱を行なう。次回の再会を誓つて閉会しました。

なお、前日十三日金には商縁会ゴルフ同好会(後藤政義会長三十名による第七回コンペ)ア蘇大津カントリークラブ..

写真も記念大会として開催しました。(高十三回 宮本隆盛)

主導するオカリナ教室の皆さん

が教科書はなく毎日の新聞が教材であった。そこで登校すれば授業に付いて行けず、今でもそれが良い習慣となり新規問題等の討議がなさ



記念誌「卒業64周年の足跡」(五一会)

熊商校本科五一期卒(一九四六年)は、在学当時の思い出を記念誌にまとめた一部が、此の

高野校長、掘 裕さん、馬場会長、清田 博さん

が贈られました。

記念誌には、42年に入学した51期生274人の写真をクラスごとに掲載し、学徒動員で長崎に行つた人も多く、回想録には原爆投下直後の長崎の惨状を記述するものもあります。

本校五一期卒は、今年八〇才を迎えた。当時は戦争一色の世の中で、勉強も十分にできなかつた時代を思い起し、後輩達に戰争の愚かさを考えるきっかけに

私達高校生は皆一番の食べ盛りで、アルミの弁当箱は蓋が閉まらない程に麦飯を詰め込み登校する。そして誰もが昼休みまで腹が持たず、2～3時間後

度同窓会へ寄贈されました。記念誌には、42年に入学した51期生274人の写真をクラスごとに掲載し、学徒動員で長崎に行つた人も多く、回想録には原爆投下直後の長崎の惨状を記述するものもあります。

担当の柳山先生は海軍兵学校出身の特攻隊の生き残りで、姿勢や態度が悪いと教諭前に並ばされ、「歯を喰いしばれ」足を踏んばれ」と言わ�れビンタが飛ぶ事もあった。

担当の柳山先生は海軍兵学校出身の特攻隊の生き残りで、姿勢や態度が悪いと教諭前に並ばされ、「歯を喰いしばれ」と言わ�れビンタが飛ぶ事もあった。

担当の柳山先生は海軍兵学校出身の特攻隊の生き残りで、姿勢や態度が悪いと教諭前に並ばされ、「歯を喰いしばれ」と言わ�れビンタが飛ぶ事もあった。



私達高校生は皆一番の食べ盛りで、アルミの弁当箱は蓋が閉まらない程に麦飯を詰め込み登校する。そして誰もが昼休みまで腹が持たず、2～3時間後

度同窓会へ寄贈されました。記念誌には、42年に入学した51期生274人の写真をクラスごとに掲載し、学徒動員で長崎に行つた人も多く、回想録には原爆投下直後の長崎の惨状を記述するものもあります。

現在はデジカメでDPE店に入部に入部する。

(続々)

高校になると校則が全面的に見直され殆ど

の悪がおさまらず、昼休みになるとハンドで学校の土壠を乗り越えて十円のコップパンを買

り越えて十円のコップパンを買

り越えて十円のコップパンを買

